

授業科目	精神障害治療学Ⅱ				
担当者	足立一（実務経験者）・松田匡弘（実務経験者）・芳賀大輔（実務経験者）・ 櫛田理彩（実務経験者）・南庄一郎（実務経験者）				（オムニバス）
実務経験者の概要	足立一（実務経験者）、松田匡弘（実務経験者）、芳賀大輔（実務経験者）、櫛田理彩（実務経験者）、南庄一郎（実務経験者）は、精神医療福祉機関で勤務し、精神障害者を対象とした作業療法の経験を有する者				
学科名	作業療法学専攻	学 年	3年	総単位数	1単位
		開講時期	後期	選択・必修	必修

■ 内 容

教科書及び配布資料を用いた講義と演習。作業療法実践報告

足立一（実務経験者）、松田匡弘（実務経験者）、芳賀大輔（実務経験者）、櫛田理彩（実務経験者）、南庄一郎（実務経験者）

■ 到達目標

精神障害者に対する作業療法評価・治療に必要な基本的知識と技術を習得する。

■ 授業計画

- 第1回 気分感情障害の作業療法（疾患の基礎）（実務経験者：足立一）
- 第2回 気分感情障害の作業療法（評価と治療、留意点）（実務経験者：足立一）
- 第3回 神経症性障害の作業療法（疾患の基礎）（実務経験者：足立一）
- 第4回 神経症性障害の作業療法（評価と治療、留意点）（実務経験者：足立一）
- 第5回 人格障害・摂食障害の作業療法（疾患の基礎）（実務経験者：足立一）
- 第6回 人格障害・摂食障害の作業療法（評価と治療、留意点）（実務経験者：足立一）
- 第7回 てんかんの作業療法（疾患の基礎、評価と治療、留意点）（実務経験者：足立一）
- 第8回 発達障害の作業療法（疾患の基礎、評価と治療、留意点）（実務経験者：足立一）
- 第9回 精神科作業療法評価 まとめ（実務経験者：足立一）
- 第10回 就労支援と作業療法（実務経験者：足立一）
- 第11回 就労支援と作業療法（実務経験者：足立一）
- 第12回 作業療法の実際（実務経験者：松田匡弘）
- 第13回 作業療法の実際（実務経験者：芳賀大輔）
- 第14回 作業療法の実際（実務経験者：櫛田理彩）
- 第15回 作業療法の実際（実務経験者：南庄一郎）

■ 評価方法

レポート課題40% 小テスト60%

小テストを含む試験時に不正な行為があったと認められた者については、規程に定める第16条を適用し、当該学期の全ての試験を無効とし、失格（留年）とする。

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

非常勤講師の授業終了後はレポート課題に取り組みその内容を復習する。

その他の授業については、教科書に基づき、その内容を予習復習し、達成度を小テストで確認する。

■ 教科書

書名：作業療法学全書改訂第3版第5巻作業治療学2 精神障害
著者名：社団法人日本作業療法士協会監修 富岡詔子・小林正義編集
出版社：協同医書出版社

書名：標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 精神医学
著者名：奈良勲 鎌倉矩子 監修
出版社：医学書院

■ 参考図書

■ 留意事項

■ 講義受講にあたって

2年次で学習した精神医学を見直しておくこと。